



## ランナーに応援で貢献

10月8日に舞鶴赤れんがハーフマラソン2018が開催され、2,328人のランナーが舞鶴をかけ抜けました。舞台裏ではたくさんのボランティアの方の支援がありました。地元の高校生や自衛隊、応援演奏のボランティアスタッフ約660人と街路で声援を送った人が約1,500人。気持ち良く走れるようにとランナーたちをバックアップし、エールを送りました。

①大波の給水所②折り返し地点でエールを送る地元住民③北吸棧橋では自衛隊員と棧橋の見学者が応援④ハイタッチでラストスパートも笑顔に⑤走者と観客でにぎわう赤れんがパーク周辺⑥ゴールテープを握るスタッフ⑦ゴールで「お疲れさま」の一声



# まいづる元気人 Vol.59

## 水泳とスノーボードのマルチアスリート



城北中2年  
アイエムスポーツ倶楽部 舞鶴  
鍵本 彩夏 さん

全国JOCジュニアオリンピックカップ春季水泳競技大会優勝。全日本中学校水泳競技大会3位。府北部では初のナショナル選手標準記録ジュニアエリートBを突破したスイマー。また、冬季はスノーボーダーとして各種大会で好成績をおさめている鍵本彩夏さんに水泳やスノーボードを始めたきっかけ、今後の目標を伺いました。

### 目標は日本選手権

アイエムスポーツ倶楽部舞鶴に所属する城北中2年の鍵本彩夏さん。今年8月に行われた全国中学校水泳競技大会の女子200m平泳ぎで2分29秒89をマーク。日本水泳連盟が定めるナショナル選手標準記録ジュニアエリートBを突破（今年度同クラスの突破者は全国で17人のみ）。



ト板に乗ってバタ足。それでも「楽しい」しかなかったです。初めて出場したレースでは招集漏れで失格。つい泣いてしまいました」と水泳を始めたきっかけや当時の様子を教えてください。

現在アイエムスポーツ倶楽部には週6日、火曜日以外は毎日練習に通っている。「いつもは1時間の練習で4〜5km、府の強化合宿になると1日平均15〜20km泳いでいます。得意種目は平泳ぎで、練習中は体を起こしすぎないように気を付けています」。

### 冬季はスノーボーダー

鍵本さんは、スノーボーダーという別の顔も持っている。

「家族みんながやっていました。昨年の滑走の技術を競う全日本学生スノーボードテクニカル選手権大会フリースタイルで優勝。その実力もトップクラスだ」。

「最初はスキー、小学校に上がるときにスノーボードに変えました」ときっかけを教えてください。

練習は雪が降り始める12月頃から、ハチ北スキー場（兵庫県）をベースに活動。元日本チャンピオン足立正人さんのもと、全国トップクラスの選手が集うチーム「Bee house 1s」で練習している。練習の様子を聞くと、「特に子どもも抜いはありません。滑りの話とか



だけじゃなくてお互いいろんなことを話しながら1人のスノーボーダーとして楽しく滑っています」と話す。

競技は、スピードを競うタイムで優劣を付けるアルパイン競技とターン技術を競うテクニカルの2種目。「スピード系はタイム。技術系は表現。滑り方も違ってくるので競技に合わせて滑らないといけない。対応能力がないと難しいです」と種目の違いや難しさを教えてください。

「水泳もスノーボードも練習すればどんどんタイムが出て、上手くなるので楽しいです。どちらの競技も周りの人達に恵まれて、いい環境で練習させてもらっているのが感謝しています。みんなに恩返しができるように頑張ります」と競技への意気込みを語ってくれた。

